

LibraryNavigator

ライブラリーナビゲーター

図書館イメージキャラクター
よむりす



学びが見える 図書館探検

～大学図書館の魅力にせまる～

新入生
歓迎!

学生ライブラリースタッフから
新入生へ贈る一冊

図書館長からのメッセージ

立命館大学図書館のお宝紹介! 古筆手鑑「残花帖」

特別コレクションのご紹介「加藤周一文庫」

図書館の上手な
使い方教えます

レファレンス・ガイダンス紹介

図書館長からのメッセージ

一人一人の チャレンジを育む空間

新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。

立命館大学に晴れてご入学されたみなさんの手には、いま2枚の「チケット」が握られていると言ってもよいでしょう。1枚は、文学部や理工学部や国際関係学部など、みなさんが所属する学部への入学チケット、そしてもう1枚は、図書館への入館チケットです。

今日から始まる4年間という、自由で創造的な日々の多くを送ることになる空間——それが図書館です。レポートの作成は言うに及ばず、ゼミの共同論文のためのディスカッション、卒論の執筆、統計データの収集など、この世界の、文字通りありとあらゆる知と情報へアクセスし、消化し、吸収し、新たな知の体系として吐き出していく拠点——それが図書館です。

昨年度、衣笠キャンパス正面玄関（正門）横に「平井嘉一郎記念図書館」が新たにオープンいたしました。1940年に本学法学部経済学科を卒業され、日本有数のコンデンサメーカー「ニチコン株式会社」を創業された故平井嘉一郎氏と、その遺志を引き継がれた奥様の平井信子氏のご寄贈による図書館です。若いみなさんの勉学を支えたいという大先輩の思いが詰まった図書館で、思いっきり思索と勉学に励んでいただければ幸いです。

みなさんは、ラーニング・コモンズという言葉を知っていますか。コモンズは本来、「共有地」を表しますから、この言葉には「学びの共同・共有空間」という意味が込められています。衣笠、びわこ・くさつ、大阪いばらきのそれぞれの図書館にはすべて、このような空間がしつらえられています。わいわいがやがやと楽しい議論をたたかわせながら、新たな知の体系の創造に向けて、チャレンジしていきましょう。

立命館大学図書館長
国際関係学部教授・経済学博士

板木雅彦



★ 学びが見える 図書館探検

～大学図書館の魅力にせまる～

立命館大学には、4つのキャンパスに7つの図書館があります。
キャンパスの特徴に応じた施設・機能であなたの学びをサポートします。
あなたも図書館を探検し、その魅力を体感してください。

【図書館基礎データ】

図書資料	約320万冊
雑誌タイトル数	約6万3千タイトル
視聴覚資料	約6万件
電子ジャーナル	約4万7千タイトル

他キャンパスの資料や電子資料を含め、膨大な資料を利用することができます。また、国内外の他大学の資料の利用について図書館に相談することもできます。図書館を活用するための情報は図書館ホームページに掲載しています。

図書館ホームページ
<http://www.ritsumeai.ac.jp/library/>



平井嘉一郎記念図書館

人文科学・社会科学分野の資料を中心に所蔵

■閲覧室面積:14,585㎡ ■閲覧席数:2,000席



メディアセンター

自然科学分野の資料を中心に所蔵

■閲覧室面積:5,922㎡ ■閲覧席数:878席



OICライブラリー

社会科学分野の資料を中心に所蔵

■閲覧室面積:8,477㎡ ■閲覧席数:1,110席



メディアライブラリー

社会科学分野の資料を中心に所蔵

■閲覧室面積:10,690㎡ ■閲覧席数:1,059席



修学館リサーチライブラリー

人文科学・社会科学分野の研究資料を所蔵

■閲覧室面積:2,271㎡ ■閲覧席数:34席



人文系文献資料室

人文科学分野の研究資料を所蔵

■閲覧室面積:842㎡ ■閲覧席数:53席



朱雀リサーチライブラリー

法律・政治行政分野の資料を所蔵

■閲覧室面積:1,361㎡ ■閲覧席数:309席

平井嘉一郎 記念図書館

HIRAI KAICHIRO MEMORIAL LIBRARY

2016年4月1日「平井嘉一郎記念図書館」が開館されました。故・平井嘉一郎様は1907年(明治40年)12月24日現在の京丹後市大宮町において誕生、1940年(昭和15年)に本学法学部経済学科を卒業、その後ニチコン株式会社を創業し半世紀にわたり同社発展に力を注がれ、世界に躍進する企業へと、その礎を作り上げてこられました。2001年(平成13年)1月20日93歳でご逝去なされるまで、真摯な人柄にして仕事一筋、有言実行・率先垂範の経営者として活躍されました。平井嘉一郎様は常々、次代を担う若者の育成についても貢献したいとお考えを持っておられ、今回、そのご遺志を引き継がれたご令室平井信子様のご寄付によって、平井嘉一郎様のお名前を冠した、重厚感溢れる立命館大学の新しいアカデミックシンボルとなる新図書館が建設されました。

私が紹介します!



文学部3回生
浅野 芳成さん



ぴあら

グループワークエリア、イベントエリア、多文化交流エリアなど、学習の目的・スタイルに合わせて様々な形で仲間とともに学びを深められる場所です。

仲間と議論しながら資料作成する人達、プレゼンテーションの練習をする人達など、学生同士の学び合いの様子から沢山刺激を受けます!



平井嘉一郎氏胸像



エントランスには、平井嘉一郎様の胸像、座右の銘、平井様ゆかりの映像を映すモニターなどが設置されています。また3階には平井様の業績を顕彰するメモリアルルームがあります。偉大な大先輩が私達の成長を見守ってくださいています。



ライブラリーバレー

知の拠点である図書館のシンボルです。2、3階の吹抜けに面して天井まで高さのある書架には、本学の貴重なコレクション群の一部が配架されています。

閲覧室

館内は総座席数2000席以上!両脇に仕切りのあるキャレルデスクや個人学習ブースなど、落ち着いた学習できる環境が充実しています。

私は3階窓際の席が明るく見晴らしが良いのでお気に入りです。



KASIDUSゲート・自動貸出返却機

KASIDUSゲートは日本初の自動貸出機能付ゲートで、借りたい本を持って通るだけで貸出処理が完了します。また自動貸出返却機も、10冊程度なら一気に貸出処理が可能です。

授業で急いでいる時でもスマートに本を借りられて便利!



自動書庫

B2階には約100万冊収納可能な自動書庫があります。館内の蔵書検索システム(OPAC)から出庫指示を行うと、1階の専用ブックトラックに出納されます。隣のデジタルサイネージでは出庫状況の確認ができます。



PCロッカー

館内利用のノートパソコンの貸出手順を自動で行うロッカーです。学生証をかざすだけで簡単に借りることができます。

館内にはコンセント付座席が1000席以上あるので、電源に困ることなく快適に使えます。



レファレンスカウンター

課題をこなしたりレポートを作成するにあたって、どんな資料や参考文献を調べればいいのか困った際は、ぜひレファレンスカウンターへ。レファレンス・ライブラリアンの方々が丁寧にサポートしてくれます。

メディア センター

MEDIA CENTER

私が紹介します!



理工学部 4回生
村上 明日香さん



授業やサークルにおけるグループでの打ち合わせで頻繁に利用しています。大型ディスプレイのPCも2機設置されているため、グループでの話し合いを行う際にその場で、調べものを行うことができます。



びあらではゼミの課題とプレゼンテーションの準備をしています。授業で学んだことについて理解を深めた上で、自分の意見を相手に伝えることをいつも意識し、実践しています。

私が紹介します!



経済学部4回生
XIE Yuegangさん

メディア ライブラリー

MEDIA LIBRARY



閲覧室



2階閲覧室は静かに自習をしている利用者が多く、集中して作業を行いたい時に打ってつけの場所です。自宅で勉強するよりも集中して作業を行うことができます。

びあら

びあらは利用者によって活気にあふれた雰囲気が保たれているため、グループ学習がはかどりやすい環境になっています。壁一面がホワイトボードになっており、直接数式などを書き込みながらグループで勉強を進めることができます。



びあら

お気に入りの場所はびあらです。ホワイトボードや大型ディスプレイ付パソコンも設置されており、大画面に資料を映し出しながら、仲間とのディスカッションや打ち合わせを行うことができます。



ライフサイエンス・ アカデミックラウンジ

大学生ともなれば、一人で、知空間での思索に耽ったり、書籍が織りなす世界に入り込んだり、ニュースが伝える社会・世界に専念したりする機会が増えてくるはず。そんな時空間を皆さんに提供する場が、このライフサイエンス・アカデミックラウンジです。



プレゼンテーション ルーム

プロジェクターで大画面の映像を映すことが可能です。映像やデータを見ながら仲間とのディスカッションや、プレゼンテーションの練習に最適な場所です。



グループ学習室

グループでの勉強会やディスカッション等に便利なスペースです。完全な個室になっており、集中して議論を深化させることができます。ホワイトボードや大型ディスプレイも設置されており、皆さんの学習の幅を大きく広げる場所です。



カウンター



予復習やレポート作成の秘訣は、調べ上手、探し上手になること。まずはレファレンス・ライブラリアンに相談。領域やトピックス、キーワードを問い合わせると、求めているレファレンス資料が必ず見つかります。読書や勉強のためのワークスペースも教えてもらえます。

立命館大学図書館 副館長
理工学部教授
高山 茂 先生

高山先生は、理工学部電気電子工学科の授業を担当され、立命館大学図書館の副館長として図書館の運営にご協力いただいています。



新着・特集図書 紹介コーナー



学生ライブラリースタッフが、それぞれが考えるテーマに沿ってお薦めの図書を紹介しています。科学、スポーツ、芸術、文学など様々なテーマの図書を学生の目線からお伝えしています。皆さんの教養を深めてくれる一冊に出会えます。



OIC ライブラリー

OIC LIBRARY

私が紹介します！

経営学部 3回生
佐藤 美緑さん



書架に囲まれた オアシス席

学習をするときには、
書架の中にある席を使っています。
壁に面しておらず、明るすぎない
照明で、とても落ち着きます。

仲間と学べる学習空間 びあら

図書館の資料やディスプレイ等の機
器を組み合わせ、学習スタイルに応じ
た空間をデザインできます。資料の調
べ方やデータの集め方について行き
詰まったら、カウンターのリファレン
ス・ライブラリアンに相談を。

セミナールーム

びあらにはセミナールームが
4部屋あり、集中してグループ
学習やプレゼンテーションの
練習に取り組みます。

グループワークで活用
するのがセミナールームです。
壁一面のホワイトボードに
書き込みながら、ディスカッション
を深めます。

光がさす 開放的な図書館

窓より光を取り入れ爽やかで
明るい吹き抜け。上階に行く
につれ、静寂な雰囲気へと印
象が変わります。



2階フロア

明るく開放感のある2階。雑誌
コーナー以外にも「教員お薦め
本」や話題書等の「読楽」本、学
生ライブラリースタッフの特集
本展示等、注目のコーナーがあ
るフロアです。

図書館の雑誌コーナーは、
授業課題や英語エッセイのテーマ
を決めるためによく利用しています。
表紙を見て手にとり、中身を確認します。
いろいろな種類の雑誌があるので、
テーマに広がりができると思います。



高い開架率

OICライブラリーでは、ほぼ全
ての図書を直接手に取り、探す
ことができるという特徴があり
ます。図書館では類似するテー
マの本が隣接して置かれてい
ます。ブラウジング(書架を眺
め、本を手にする)をすること
で、思いがけない発見やひらめ
きに出会うかもしれません。



4階 雑誌コーナー

アカデミックで落ち着いた雰
囲気の4階。このフロアの雑誌
は主に研究者向けのものを揃
えています。学生でも利用
できます。OICならではの「社
史」「アジアと大阪」コーナ
ーはこのフロア。

窓辺の閲覧席は、
外の景色を眺めることができ、
勉強の合間の息抜きに
最適です。

図書館内の学習環境

B棟2階～4階にあるOICライブラ
リーには、集中して学習できる個人
ブース席や仕切りのないカジュアル
な席など、様々なスタイルの閲覧席
があります。また3階「電卓室」は簿記
の勉強するのに好評です。自分に
あった場所がきっと見つかるはず。



新入生
歓迎!

学生ライブラリースタッフから 新入生へ贈る一冊

Recommended!



図書館で活躍する各学部の学生ライブラリースタッフ(LS)に、
新しく大学生活をはじめる新入生に薦める一冊を紹介してもらいました。

- ① 新入生への図書紹介
- ② 図書館での活動で頑張っていること

新聞の正しい読み方

松林薫著 (NTT出版) 2016年



法学部
3回生
萩野 凌平さん

① 皆さん、大学に入学して新聞を読んでいますか? 大学は忙しくて読む時間も少ないですが、新聞を読むことは就職活動等でも生きてきます。普段新聞を読んでいる方もそうでない方もこの機会に新聞の読み方をマスターしませんか?

② 私は配架業務において、少しでも早く利用者さんの元に本が届くよう、限られた時間内で速やかに、かつ正確に配架することを心がけています。これからも常に利用者さんの立場に立って業務に励んでいきます。

京都半日 とおきの散歩道 四季折々の物語を訪ねて

若村亮、らくたび著 (ダイヤモンド・ビッグ社) 2007年



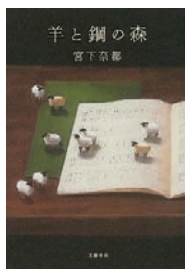
文学部
4回生
梶山 真里亜さん

① 新入生の皆さんに、期待で膨らむ「京都生活」のお供の紹介です。この本は京都を半日で満喫できる様々なコースの提案から、お土産・お守りまで四季折々の写真と共に古都の魅力をお届けします。また図書館ではこのような旅行ガイドも豊富に所蔵しています。

② 私は館内の意外な本や学生の皆様に役立つ本を紹介する館内紹介プロジェクトの活動をしています。図書館の魅力を伝えるために作成する私達のポスターを是非一度お読み下さい。

羊と鋼の森

宮下奈都著 (文藝春秋) 2015年



産業社会学部
3回生
建部 瑞希さん

① 調律師となった一人の青年の成長を描いた、静かで優しい物語。読み進めるうちに自然と頭の中にピアノの音が響きます。調律師として自分の目指すべきものは何であるのかと葛藤する青年の姿が、目標に向かって努力するあなたの背中をそっと押してくれるはず。

② 利用者さんから、ぴあら内の情報機器の使用方法や無線LANの接続方法などについて尋ねられた際は、わかりやすく丁寧に説明できるように心がけています。

こころのチキンスープ

ジャック・キャンフィールド、マーク・V・ハンセン 編著、木村真理、土屋繁樹共訳 (ダイヤモンド社) 1995年



国際関係学部
4回生
津守 晴香さん

① 欧米では、風邪をひいた時に「チキンスープ」を飲むという習慣があります。この本は、疲れた心を癒してくれる「こころのチキンスープ」です。ちょっと疲れたときに手に取ってみてください。

② 一番やりがいを感じる業務は英語を使っている図書館ツアーです。留学生の方や、海外から訪問されている方に私たちの自慢の図書館を楽しく、面白く、ガイドするように心がけています。

帰ってきたヒトラー (上・下)

ティムール・ヴェルメシュ著、森内薫翻訳 (河出書房新社) 2014年



映像学部
3回生
MAO Jiachengさん



① ナチス・ドイツの大統領ヒトラーが現代にタイムスリップしたストーリーを描く小説です。現代社会の問題への思考と面白さを兼ねた一冊です。

② 私は研修プロジェクトで、書類の表紙やスタッフの名札のデザインを主に担当しました。一見あまり大事ではなさそうですが、そういう資料の見た目が第一印象を決めると思っています。スタッフがそれを見るたびにやる気を出してくれたら嬉しいです。

深夜特急1

沢木耕太郎著 (新潮社) 1994年



経済学部
3回生
足立 大地さん



① この本は多くのバックパッカーの指南書として知られています。筆者の体験談を目に浮かぶ各国の情景描写と共に楽しんでください。

② 業務では速やかに配架できるように時間内のノルマを自分で決めて頑張っています。

図書館戦争

有川浩著、徒花スクモイラスト (株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス) 2006年



理工学部
3回生
大藪 辰昌さん



① この小説の舞台は近未来で、本の内容や言葉への規制について物語が繰り広げられます。大切なものを守ろうとする主人公の姿、仲間たちとの友情に心を打たれます。

② 広報プロジェクトで図書紹介冊子宣伝ポスターの作成を頑張っています。

大学生の勉強マニュアル

フクロウ大学へようこそ

中島祥好、上田和夫著 (ナカニシヤ出版) 2006年



情報理工学部
4回生
牧野 晃大さん



① 大学生になって何を勉強したらいいのかわからない人はいませんか? この本は、大学で研究をするにあたって、どのようなステップを踏んでいけばいいのかが分かる本です。興味を持った人は是非読んでみてください。

② ライブラリースタッフは、本の配架が中心ですが図書館利用者の為に図書の紹介なども行っています。

老人と海

ヘミングウェイ著、福田恒存訳 (新潮社) 2003年



生命科学部
4回生
加藤 詩朗さん



① 漁を続ける老人の苦悩や自然との闘いを描いた小説です。主人公はどんな困難にも立ち向かいます。読むと元気の出る作品です!

② 不明本調査で毎回最低一冊は見つけられるように頑張っています!

舟を編む

三浦しん著 (光文社) 2011年



薬学部
5回生
山下 莉加さん



① 辞書製作に情熱をかける人々の姿を通して、自分でも何か一つ、一生をかけても良いと思えるほどのものに出会いたいと思わせてくれる一冊です。これから大学生活を送る皆さんには、ぜひ自分の興味の幅を広げて、夢になれるものを見つけてほしいと思います。

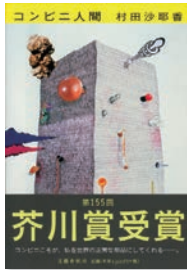
② 普段の業務では、利用者の方が使われた本の返却や本棚の整理などを行っています。図書館を利用する方が快適に過ごせるように、一つ一つの業務にしっかり取り組むように心がけています。

コンビニ人間

村田沙耶香著(文藝春秋)2016年



スポーツ健康科学部
3回生
SHIN Ahyunさん



①この本では、社会に同化する必要性を感じていない主人公と、社会の「ルール」に従わなければ追放されるという意見の対立が描かれています。独身世帯が増加し、結婚より非婚を選択するこの時代に、「違う」生き方の話を味わいたい方にお薦めします。

②主に頑張っていることは、配架です。特に、レポートやテストの期間になると、本棚が乱れやすいので最善を尽くして、利用者さんのために頑張っています。

ディズニー キセキの神様が教えてくれたこと

鎌田洋著(SBクリエイティブ)2016年



経営学部
4回生
関澤 澁樹さん



①本書には、ディズニーで実際に起きた奇跡的なエピソードが書かれています。これらのエピソードは感動的で、人生について考えさせられる内容となっており、ディズニー好きの人はもちろんのこと、これからの人生について考えている人にオススメの一冊です。

②私は利用しやすい環境を作ることを意識し、業務に取り組んでいます。特に、配架業務は簡単な作業ですが、重要な作業なので、できるだけ早くミスのないよう、気を引き締めて取り組んでいます。

わたしを離さないで

カズオ・イシグロ著、土屋政雄訳(早川書房)2008年



政策科学部
3回生
児島 由理さん



①なんのために生まれて死ぬのかという考えさせられる物語です。また物語を楽しむだけでなく、今自分の生きている社会に置き換えてみて「こういった考え方は自分のまわりでもあるんじゃないか」、「この社会の問題はなにか」といった学術的な読み方もできる1冊です。

②ライブラリースタッフでは毎月の特集本の紹介に力をいれています。図書館にはこんな本があるんだということをぜひともいろんな人に知ってもらいたいです。

人は、なぜ約束の時間に遅れるのか

素朴な疑問から考える「行動の原因」

島宗理著(光文社新書)2010年



総合心理学部
2回生
西川 晴香さん



①行動分析学の『文脈と機能』、簡単に言うと行動の癖付きについて、わかりやすく解説してある書籍です。最近、「うっかり」が多いと感じることはありませんか？この本を読めば、あなたの日常での些細な「うっかり」の理由が分かってしまうかも...！総合心理学部の方はもちろん、少しでも心理学に興味のある方は手にとってみてください。

②利用なさる皆様に頼っていただける、「図書館の優しいおねえさん」になるのが目標です。丁寧な対応を心掛けています。

図書館の上手な
使い方教えます！

レファレンス・ガイダンス紹介

図書館の「わからないこと」はカウンターで相談しよう！

図書館のカウンターでは、専門スタッフである「レファレンス・ライブラリアン」が、探している資料の所蔵調査(他大学などの図書館も調査します)、テーマに応じた情報の探し方、データベースの検索方法など、図書館の利用方法や必要な資料の探し方に関する様々な質問や相談にお応えしています。「わからないこと」があればお気軽に相談ください。

図書館ホームページでは利用者からの「よくある質問」を掲載しています。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/library/ask/faq/faq1.html/>



図書館の使い方を知ろう！

各キャンパスの図書館では、皆さんが図書館の施設や資料、データベース等を使いこなすことができるように、ガイダンスを実施しています。プログラムの詳細や申込方法は以下のホームページでご確認ください。

図書館ガイダンス

<http://www.ritsumeai.ac.jp/library/service/guidance/>



1. 個人申込制ガイダンス

大学の蔵書のほか、新聞記事、雑誌論文など、必要な情報を効率良く検索する方法について、パソコンを使った実習形式で説明します。個人でも申込でき、所要時間は1回あたり30分～90分です。毎年4月中旬～7月上旬と10月上旬～12月上旬に開催しています。



実施例

- RUNNERSの使い方解説コース
- レポートに役立つデータベース解説コース
- 新聞記事の探し方解説コース
- 論文検索の方法解説コース
- 判例・法令の探し方解説コース
- 電子ジャーナル解説コース
- 物質情報の調べ方解説コース
- 学外資料の探し方解説コース
- 企業・統計情報の探し方解説コース

2. レファレンス・ライブラリアン出張ガイダンス

全回生の学部学生・院生を対象に、クラス・ゼミ・研究室のテーマに沿った図書資料の探し方や学術情報の検索方法を、図書館のレファレンス・ライブラリアンがパソコンを使った実習形式でご案内します。毎年3月上旬～11月末に、授業期間の1限から6限の授業時間内(1コマ90分以内)で実施しています。クラス・ゼミ・研究室の指導教員から予約していただく必要があります。

実施例

- 電子ジャーナル活用
- 学外資料の検索と活用
- 法律・判例情報検索
- 企業情報検索
- 統計情報検索
- 資料整理術
- RUNNERS、日経テレコン、CiNii等の検索方法

3. オンライン学習ツール

図書館ホームページでは自学自習で図書館の使い方を学べるオンライン・コンテンツを配信しています。

RAIL

<http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/lib/rail/>



5分間Webガイド

<http://www.ritsumeai.ac.jp/library/service/movie/>



図書館ホームページからアクセスできるオンライン教材です。学部毎のメニューがあり、各章ごとのQuizで学んだことを確認しながら学習することができます。



図書館の活用方法を動画(Youtube)で学ぶことができます。1つのコースが5分間と短いのので、授業の空き時間等にスマホなどからアクセスしてみてください。



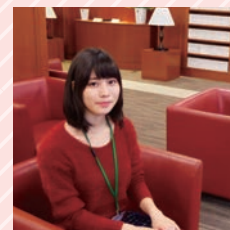
学生 ライブラリー スタッフとは

みなさんが快適に図書館を利用できるよう、返却された本を棚に戻すなどの、**図書館環境整備**をしています。また、**利用者**と**図書館の架け橋**となるよう、**図書**の紹介や**広報活動**、**イベント企画**等も行っています。



衣笠
キャンパス
文学部
3回生
余田 葵さん

私たち衣笠学生ライブラリースタッフは最先端をつめこんだ平井嘉一郎記念図書館に活動拠点を移しました。自分の視野を広げることのできる、Beyond Bordersできる図書館を様々な企画を通して作っていきたくと考えています。



びわこ・くさつ
キャンパス
生命科学部
3回生
芦田 万由子さん

今年、学生ライブラリースタッフはFacebookの運用を始めました。図書館をあまり利用されない方にも魅力を感じてもらえるようなイベントや広報活動をさらに企画していきたいと思っています。



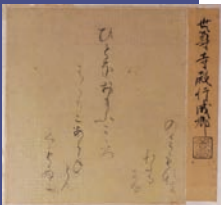
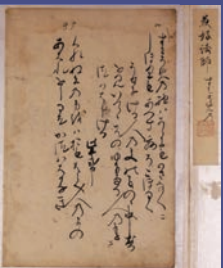
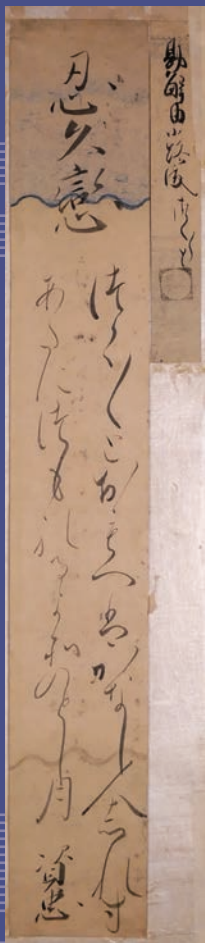
大阪いばらき
キャンパス
経営学部
4回生
山根 彩華さん

OICライブラリーは2015年度オープンして3年目です。「利用者の目に見える画期的な活動」を目標に、ライブラリースタッフ一同力を注いで活動しています。

こひつてかがみ 古筆手鑑

ざんかじょう 「残花帖」

文学部地域研究学域助教 須藤圭



なかとみのかまたり ふじわらのこうぜい さいぎょう ふじわらのさだいえ けんこうほうし とよとみひでよし……国語や歴史の授業で聞いたことがあるはずの名前を並べてみました。これらの有名人が、はたして、どのような文字を書いたか、皆さんは知っていますか?



◇
本学図書館に所蔵されている古筆手鑑「残花帖」は、それらの自筆の紙片を集め、スクラップブックのように一冊にまとめた、極上の一品です。



◇
たとえば、勘解由小路資忠の短冊(図版上)を見てみましょう。資忠は、江戸時代前期の公卿・歌人。流れるような繊細な筆致で、「(忍久恋) つくづくと思へば悲し人知れず あだに積もれる よその年月」と書いています。愛しい女性に想いを打ち明けられないまま、いたずらに過ぎてしまった年月を悲しむ気持ちを詠んだもの。今も昔も変わらない恋のかたちが、ここにはあります。

兼好法師の自筆とされる紙片(図版左下)もあります。でも、これは誤り。兼好の自筆と認められる資料とくらべると、明らかに違っています。ただ、濃墨で豊潤な書きぶりから、兼好が生きた南北朝時代のものであることは間違いありません。書かれているのは、『新古今和歌集』(巻八・巻末部分)。巻末部分であることが、学術的には、とても興味深いところです。

藤原行成自筆と伝わる紙片(図版右下)には、どこか見覚えのある方もいるかもしれません。この紙片、「色紙の三絶」と呼ばれ、平安時代屈指の名筆を現在に伝えるといわれる「升色紙」に、たいへんよく似ているのです。「まさか、升色紙が……!」と驚嘆するのですが、じつは模写。贋作です。よく見ると、線の流麗さや細太がぎこちなく、ホンモノとは決していえません。しかし、たとえ、贋作であったとしても、書き写し、手もとに置いておきたい、という強い想いがあったからこそ、こうした贋作が作られていたことだけは分かってきます。

古代の人々が何を想い、何に関心をもち、何を書き残そうとしたか。これらの紙片は、そうした歴史も浮かび上がらせてくれるのです。



◇
ところで、ちょうど、この文章を書いているころ、新海誠監督の映画「君の名は。」が話題になりました。わたしは、映画館で1回、インド行きの飛行機の中かで2回見たのですが、「糸」「時間」などに加えて、「書きとどめること」も、重要なキーワードになっていました。入れ替わってしまった二人の男女が、互いの存在を確認しあうかのようにスマホに書いた日記。それが、あるときを境に画面から消滅してしまい、同時に、お互いのことも忘れてしまって……。

◇
スマホであれ、紙片であれ、書きとどめることは、「そこに書き手がいたのだ」という事実を知らしめる重要な目印です。ぜひ、古筆手鑑「残花帖」を眺めながら、古代の人々の息づかいを感じてみてください。



※古代手鑑「残花帖」の閲覧には、衣笠キャンパス人文系文献資料室(修学館西側階)カウンターでの申請が必要です。

加藤周一文庫



デジタルアーカイブで公開されている
青春ノート

◇
本学図書館は2011年2月、加藤周一氏の御遺族より、御自宅に所蔵されていた膨大な蔵書と遺稿・ノート類の寄贈を受けました。これは同氏が、本学国際関係学部の客員教授や国際平和ミュージアム初代館長を務められるなど、本学とゆかりが深かったことから、御遺族の御意向により実現したものです。

◇
寄贈いただいた資料は、2016年4月に衣笠キャンパスに開設した「平井嘉一郎記念図書館」内に「加藤周一文庫」として収め、書籍・雑誌類約20,000点の内、約12,700点を平井嘉一郎記念図書館2階の加藤周一文庫閲覧室に配架しています。

◇
閲覧室資料の内訳は、図書約11,200冊、雑誌約300タイトル1,500冊で、和書(中国書含む)85%、洋書15%です。また文学書の中には、本学図書館では収集しない近現代の小説など、学内では加藤文庫にしか所蔵していない資料も多数存在します。これら閲覧室の資料は自由に閲覧することが可能で、一部を除いて貸出できます。

◇
なお、書籍・雑誌以外にも、ファイル1,000点余とダンボール30箱分の手稿、ノート、手帳、書簡、原稿、切抜資料、地図、写真など、多種多様の資料を寄贈いただいています。衣笠総合研究機構に設置された加藤周一現代思想研究センターにより、これら資料の分析とデジタルアーカイブ構築の取組が進められており、第一弾として17歳から22歳にかけて加藤が書き綴った8冊の冊子型ノート(青春ノート)のデジタルアーカイブが2016年4月に公開されました。

◇
加藤周一文庫および「青春ノート」デジタルアーカイブをぜひご覧ください。

◇
デジタルアーカイブ <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/2671055100>



加藤周一

◇
加藤周一(1919-2008)は、戦後日本を代表する国際的知識人。少年時代から文学に親しむ。第一高等学校を経て東京帝国大学医学部を卒業。1951年から55年までフランス留学。1960年以降カナダのプリティッシュ・コロロンビア大学、ベルリン自由大学、アメリカのイェール大学などで教鞭をとる。晩年には「九条の会」の呼びかけ人となり憲法第九条の擁護を訴える。主著『日本文学史序説』『日本 その心とカタチ』『羊の歌』『夕陽安語』

「読楽コーナー」
学生選書活動 報告

衣笠、BKC、OIC 各キャンパスで、恒例の「学生選書」を実施しました。各館有志の学生が選書テーマを話し合い、「読楽コーナー」に配架する図書を選びました。作成されたポスターや推薦文からは、学生スタッフの図書に対する思いが伝わってきます。読書のきっかけに、ぜひ選ばれた図書をご利用ください。

学生選書活動は毎年実施しています。詳しくは図書館ホームページの News & Topics をご覧ください。



【衣笠キャンパス】
平井嘉一郎記念図書館

今年のテーマは「**大海に挑む**」。

学生の皆さんが大学生活の中で経験するであろう数々のターニングポイントで読んでほしい本を、「航海」になぞらえて、「支度」、「出帆」、「荒波」、「覗き込む」、「凧」、「大海」の6つの観点から選書しました。



【びわこ・くさつキャンパス】
メディアライブラリー メディアセンター

今年のテーマは

「**君の内なる図書館をつくらう**」です。

「本を通して自分なりの人生観を豊かに築いて欲しい」という願いを込めて、本に対する熱い思いと個性を出しながら選定しました。



【大阪いばらきキャンパス】
OICライブラリー

今年のメインテーマは「**旅—連鎖する読書のすすめ**」です。3名のスタッフが個々に設定したテーマは、「Good Company (道連れ)」、「自由な旅」、「みち」です。3名の有志がいざなう旅とはどんな「旅」でしょうか？読者の皆さん方にも、3名のスタッフが繰り広げた「旅」の世界について考える機会となりましたら幸いです。

展示企画のご案内

平井嘉一郎記念図書館では、開館の記念行事の一環として、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所の共催により、白川静先生の学問の歩みとお人柄を回顧する特別展示「白川静文庫」特別展示～白川静の世界～などの企画展示を開催しました。OIC ライブラリーでは、立命館大学災害復興支援室との共催で、本学学生が被災地域住民へのインタビューを写真と言葉にまとめたパネルを展示するなどの企画展示をしました。

2017年度も、皆さんの気づきや、図書館利用のきっかけ作りになるような展示を企画していく予定です。

図書館ホームページのご案内

図書館ホームページは、図書館を活用するための情報を掲載し、図書検索やデータベース等のオンラインサービスにアクセスする入口になっています。また、学生ライブラリースタッフによる Facebook も更新中で、図書紹介などの旬な情報をお届けしています。



2016年11月より
学生ライブラリースタッフ
Facebook更新中！
Facebookもチェック



図書館ホームページ
<http://www.ritsumeikai.ac.jp/library/>